

ク 事業計画書の簡易版

<資料> 松戸市市民センター8施設(北部グループ)管理運営について

提案者:株式会社JTBコミュニケーションデザイン

1. 松戸市市民センター(北部)運営理念と基本方針について

運営理念

誰もが つどい、つながる、地域コミュニティ拠点

設置目的及び役割

市民の生活向上
福祉の増進

社会教育の振興

市民の
連帯意識向上

健全で文化的な
近隣社会をつくる

松戸市マクロ環境

- 東京近郊の都市として人口が増加傾向
- 単身世帯の増加、少子高齢化の進行により、介護や障害者福祉においても、地域の支え合いや相談支援が不可欠であり、地域コミュニティの維持・活性化が課題

当施設を取り巻く状況

- 新松戸や小金北・八ヶ崎エリアは市内移住の増加も見られ、幅広い層の利用が増加する可能性がある
- 多世代が交流できる「生涯学習」や「文化芸術」の機会提供が求められている
- 施設の老朽化に伴い、施設利用者の安全・安心の確保と利便性の高い施設運営が求められている
- 行政運営の効率化のため、デジタル技術を活用したサービスの変革が求められている

当施設への地域からの期待

- 市民同士の交流スペース・休憩スペースの設置
- 趣味や教養、健康に関する学びの機会の創出
- 施設備品のリニューアル、利便性の向上
- 多目的に利用できる施設への転換

運営理念を実現する運営方針

方針1 誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」づくり

- 誰もが親しみをもって来館できる「オープンな居場所」へ
- 市民の皆様の声を収集。新たなサービスをご提案し施設の利便性を向上

方針2 地域団体・市民との協働・連携による施設づくり

- それぞれの地域の特性や利用者層に合わせた施設サービスを展開
- 多様な主体と密に連携し、地域コミュニティの醸成、地域活性化を促進

方針3 市民一人ひとりの「やってみたい!」をカタチにする機会創出

- 施設利用者の声を拾いながら、各施設ごとの特性や利用者層に合わせた事業を展開
- ボランティア養成の実施や、施設内ボランティアに関心を持つ市民を募集
- 市民が活動に参加するきっかけづくりと市民の自発的な地域活動の支援

方針4 豊富な運営実績にもとづく安心・安全・快適な管理運営

- 全国の管理運営実績を活かした最適なサービスの提供
- 南部グループの運営経験があり施設を熟知した企業に委託。安心・安全・快適な環境を提供

<令和11年度終了時における目標>

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 施設全体の利用率 | 令和7年度対比3%増加 |
| 2. 地域連携先の数 | 令和7年度対比300% |
| 3. 講座参加人数 | 令和7年度対比110% |
| 4. 指定管理期間における | 重大事故0件。利用者満足度80%以上 |

ク 事業計画書の簡易版

<資料> 松戸市市民センター8施設(北部グループ)管理運営について

提案者:株式会社JTBコミュニケーションデザイン

2. 方針1 「誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」づくり」の具体的な取り組み

施設利用者の利便性向上による居場所づくり

- 稼働率の低い諸室を利用がない際に、オープンスペースとして活用することで、多世代交流や居場所づくりに繋げ、**様々な年代に受け入れられる施策**を行います。

交流・休憩スペース
確保



※イメージ

ながいき室の
無料開放DAY
(おもちゃの設置に
よる多世代交流)



市民に有益となる
情報コーナーの設置



かゆい所に手が届く
付帯サービスの充実

具体的内容(一例)

- ・ モバイル充電器貸出
- ・ 撮影用スマホスタンド
- ・ 周辺飲食店マップの提供
- ・ 施設備品のリニューアル

自主事業を通じた多世代の居場所づくり

- 幅広い世代に向けた、市民の**関心の高い事業**と市民センターを利用したくなるような事業を行い、多世代の居場所づくりを実現します。

親子で読み聞かせ



ヨガ・バレエ・
ZUMBA教室



食育講座



健康増進シリーズ
eスポーツ



3. 方針2 「地域団体・市民との協働・連携による施設づくり」の具体的な取り組み

周辺地域施設との連携・地域特性や施設特性を踏まえた事業展開

- 松戸市市民交流会館(すまいる)や松戸市市民センター(南部グループ)と連携を行い、松戸市内全体の地域活動を促進していく他、地域団体や施設利用者との関係を深め、これまで以上に地域の皆様のニーズに応える事業を提案します。

ボードゲーム会
市内活動団体等と連携



市民センター
音楽フェス



地域団体交流会



センターボランティア
制度の導入



市内の各種メディアと協業・連携した情報発信

- 松戸市内の**各種広報媒体やデジタルメディア**の活用も図り、積極的に市民センターの集客につなげます。
- 新松戸駅市民センターや馬橋・馬橋東市民センター周辺は若年層や子育て世代が多く、小金北・小金・八ヶ崎市民センター周辺は高齢者が多い等の**地域特性を鑑み、各施設で適切な広報媒体の活用を推進**します。

【主な連携先】

地域新聞の活用
ちいさ新聞松戸版 等

市内NPO団体
まつどNPO協議会

市内公共施設
松戸市市民交流会館
南部グループ等

松戸市内バス広告



ク 事業計画書の簡易版

<資料> 松戸市市民センター8施設(北部グループ)管理運営について

提案者:株式会社JTBコミュニケーションデザイン

4. 方針3「市民一人ひとりの「やってみたい!」をカタチにする 機会創出」の具体的な取り組み

ボランティア活動・サークル活動の促進

- より多くの市民の皆様が**市民センターに愛着を持って活動**していただくために、市内のNPO法人等と連携した事業を定期的に開催します。また、多くの市民の皆様が**地域活動に踏み出せるきっかけ**を創出します。

センターボランティア養成講座

施設と市民の皆様が協働・能動的に参加する関係性へ移行するため、「まつどNPO協議会」をはじめ、市内NPO団体等と連携して実施



サークル活動促進事業

多くの市民の皆様が多様なサークル活動を知り、体験していただくために「サークル・オープンキャンパス」を定期的に開催



施設利用者からの声を把握し、運営施策に反映

- 埋もれてしまいがちな施設利用者の声も含めてニーズを把握するため、**収集の間口を広げ、できるだけ多くの「お客さまの声」を収集把握**します。

【施設利用者の声の収集方法】

区分	手段	頻度
日常業務	窓口・電話	開館中
	匿名ご意見箱	開館中
	メール/WEBフォーム	常時
アンケート	利用者アンケート	通年
	非利用者アンケート	年1回
	事業アンケート	通年
ヒアリング	利用者懇談会	年1回

POINT

紙によるアンケートに加え、当社が独自開発したアンケートシステムを導入。当社が管理する全国の施設傾向や施設の特徴をクロス集計し、施設利用者のニーズを的確に把握します。全国で人気の高い講座も把握することが可能です。

5. 方針4「豊富な運営実績にもとづく安心・安全・快適な管理運営」の具体的な取り組み

誰もが安心・安全・快適に利用できるユニバーサルな施設づくり

- 高齢者・子ども・外国人・障害のある方・性的少数者の方などを含め、**全ての施設利用者が安全・安心・快適に施設を利用できるユニバーサルな施設づくり**を行います。

【多様な利用者への配慮・取り組み例】

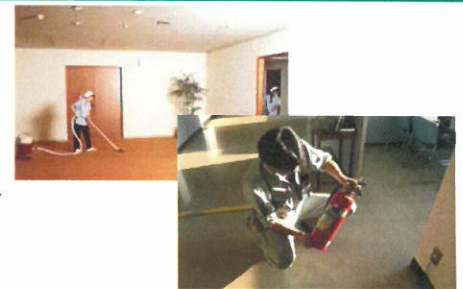
多様な利用者	ソフト面の配慮・取組	ハード面の配慮・取組
歩行の 不自由な方	・バリアフリートイレなどの案内誘導 ・館内用車いすの貸し出し ・緊急時誘導の避難訓練実施	・段差スロープと滑り止めテープの設置で転倒防止 ・通路や窓口はスペースを確保
高齢の方	・老眼鏡などの貸し出し設置 ・分かりやすい利用案内資料	・段差をなくすプレート設置で転倒防止 ・休憩スペースの充実
子ども連れや 妊娠中の方	・階段、手すり等危険個所の周知 ・親子参加できる託児事業の実施	・授乳室、おむつ台などの備品の充実 ・救護室の設置検討

施設特性を熟知している企業に維持管理業務を委託

- 松戸市市民センターの南部グループの運営経験があり施設を熟知した企業に委託。
- 安心・安全・快適な環境を提供します。

POINT

- 清掃状況のインスペクションを定期的に行い、**清潔感あふれる施設を保持**。
- 定期的な設備巡回による安心の提供。
- 修繕を**地元業者へ発注し、早急に対応**。
- 設備機器の交換や壁紙、畳替え等の修繕は、中長期的に計画を立て実施し、**限りある予算を有効に活用**。

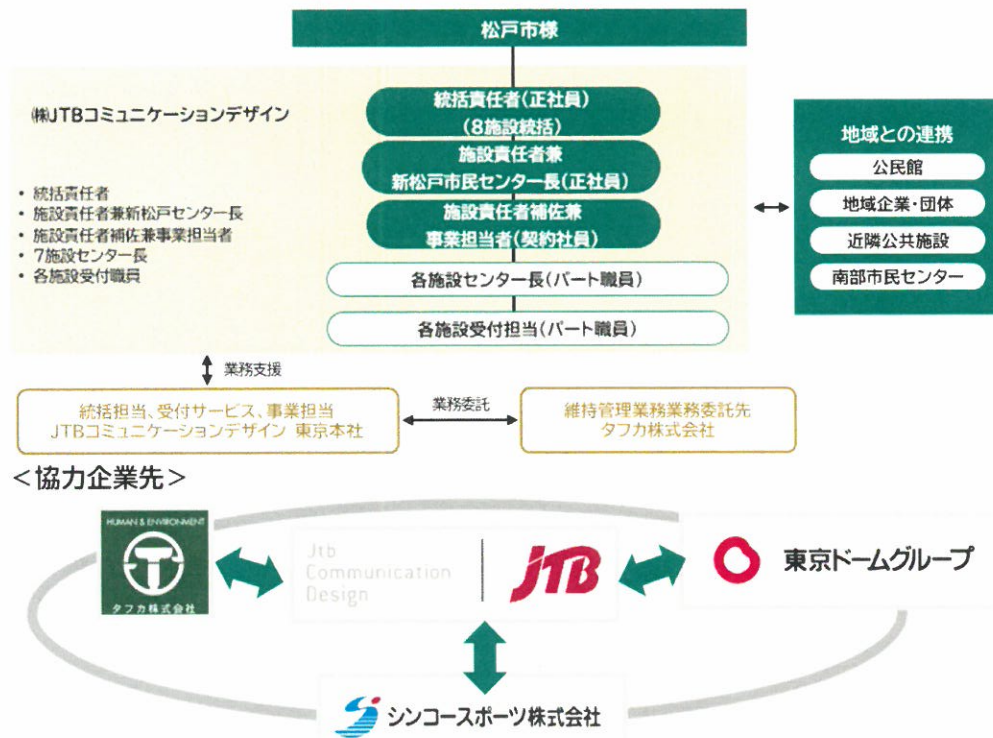


ク 事業計画書の簡易版

<資料> 松戸市市民センター8施設(北部グループ)管理運営について

提案者:株式会社JTBコミュニケーションデザイン

6. 運営理念・運営方針を達成する体制について

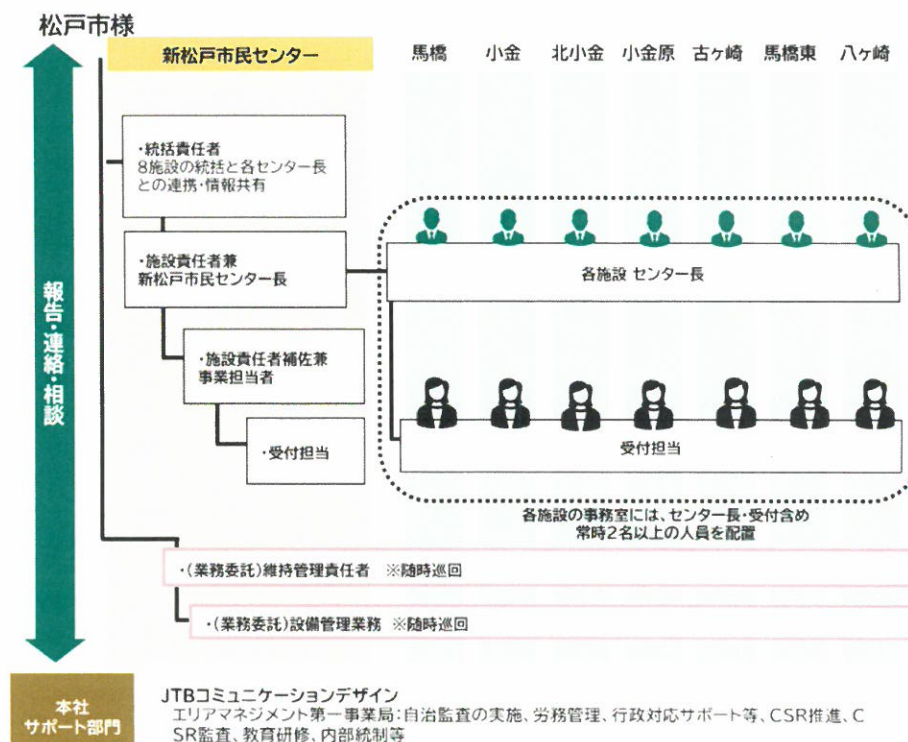


POINT

- 重要なポストには**経験豊富な社員を配置**。責任の所在を明確にした組織体制を構築
- 維持管理業務を松戸市内での**維持管理業務経験の豊富**なタフカ株式会社に委託。
- 北部グループの現指定管理者**の東京ドームグループ、**南部グループの現指定管理者**のシンコースポーツと既に協力体制を構築。現行事業者が培ってきた地域とのつながりを大切に引き継ぎ、各所との連携を強化。

7. 組織詳細

- 新松戸市民センターを統括施設として機能させることで、8館を連携・連動させた一体的な運営体制を構築します。
- 統括責任者を8施設全体を統括する責任者として配置し、各センターにはセンター長を配置します。常時2名が受付の対応を行い市民の皆様が安心・安全に運営を利用していただけるよう、管理運営を行います。



※業務委託先であるタフカ株式会社(指定管理部:設備維持管理、維持作業立会結果確認)でも、本社サポート部門でのバックアップ体制を整えております。